清泉女学院 中学3年生 メディエーション講座 振り返りまとめ

2026年10月9日｜PDF全154ページを画像読取して集約

確認ページ数
154

全体の中心メッセージ
対立を勝ち負けにせず、相手を聴き、自分を伝え、対話で解決へ進む

主要テーマ（複数テーマに該当するため合計は154を超えます）

テーマ	内容の要約	該当ページ数	全154ページ比率	検索語
対立を対話で整理・解決	対立を避けるだけでなく、双方の考えを整理し、納得できる解決を探す	75	48.7%	対立・解決
相手の気持ち・立場を考える	自分と相手では見え方が違うことを理解し、感情や背景を想像する。	72	46.8%	気持ち・立場
話し合い・コミュニケーション	関係を保ちながら話し合うこと、対話を続けること自体に価値がある。	49	31.8%	対話・コミュニケーション
相手の話・意見を聴く	途中で決めつけず、最後まで聴く。あいづちや質問も活用する。	47	30.5%	傾聴
自分の気持ち・意見を伝える	わたしメッセージや言葉選びを意識し、攻撃せず自分の考えを表す。	43	27.9%	自己表現
違い・文化・価値観を尊重	文化・経験・価値観の違いを前提に、正しさを一つに決めつけない。	34	22.1%	多様性・文化
中立なメディエーターの役割	片方に寄らず、双方が話せる場をつくり、整理と橋渡しを行う。	30	19.5%	メディエーター役割

設問別まとめ

設問	主な回答内容	今後につながる行動	読み取りのまとめ	
印象に残った授業・活動	対立と平和、メディエーション実践、メディエーター体験、わたしメッセージ、文化・価値観の違い。	学んだ型を実際の友人関係・学校生活で使う。	体験型の活動が特に記憶に残っている。	
特に印象に残ったこと	相手の話を聴く難しさ、言葉選び、中立でいる難しさ、双方の立場を整理する大切さ。	すぐ判断せず、相手の気持ちと背景を確かめる。	知識よりも対話時の姿勢への気づきが多い。	
今後の生活に活かすこと	相手の意見を最後まで聴く、自分の気持ちを落ち着いて伝える、決めつけない、困っている人を支える。	友人・家族・先生との対立や意見の違いに実践する。	具体的な行動へ置き換えられている回答が多い。	
その他の感想・メッセージ	3年間の学びへの感謝、自分の成長、今後も使いたいという意欲。	学びを継続し、周囲との関係づくりに生かす。	講座を成長実感と結びつける回答が目立つ。	

代表的な回答の要約（個人が特定されない表現に整理）

区分	回答の要約
自己表現・傾聴	対立時は相手の視点を考え、まず意見を聴いてから自分の意見を伝えたい。
言葉選び	メディエーター役では言葉遣いや話し方が難しく、相手の様子を見て言葉を選ぶ必要がある。
対立・解決	意見が合わないときも、一人ひとりの意見を聴き合い、整理して解決へ進みたい。
気持ち・立場	相手の気持ちを考えて行動し、自分の気持ちも相手に伝えていきたい。
多様性・文化	文化やルール、見え方は人によって違うことを理解し、価値観を大切にしたい。
対話・信頼	自分の意見だけでなく相手がどう思うかを聴き、信頼関係をつくりたい。

読み取り上の注意：手書き原稿のため一部に判読困難な語句があります。内容は推測で補わず、判読できた趣旨を要約しています。ページ数は、各テーマの語義に該当したページを重複計上しています。